

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実	施策の目的	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する	施策	交通機関の整備
-------	---------	-------	-----------------------	----	---------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
関東鉄道常総線を軸とした公共交通体系の充実	公共交通の再編	常創戦略課
	予約型乗合交通ふれあい号の運行	常創戦略課

目標

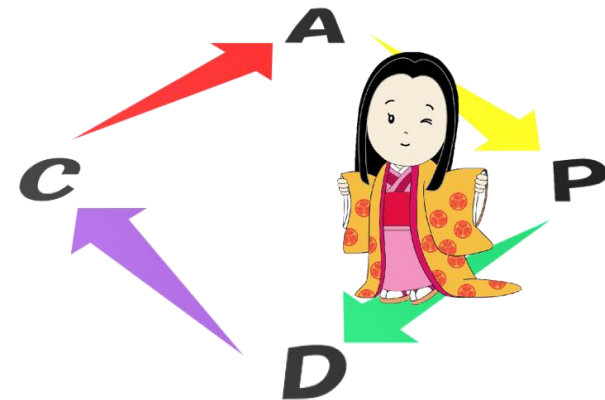
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
公共交通機関に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	11.2%	16.2%
ふれあい号の1日の平均利用者数	1日平均利用者数	利便性の向上により利用者数の増加を目指す。	87.9人	120人

令和2年度の実行状況への意見

行政改革懇談会（市民）からの意見

費用がかかっても続けていかなければならない事業であると考えている。ふれあい号利用者の増加によって得られたデータを分析し、今後の運営に活かしていただきたい。コミュニティバスには期待している。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	予約型乗合交通ふれあい号の運行			
担当	常創戦略課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	6目	3事業
事業の目的	鉄道や路線バスを補完し、市内の交通空白地帯を解消し、市全域に移動手段を確保する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	交通機関の整備
施策の方向	関東鉄道常総線を軸とした公共交通体制の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	33,444千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		669 円
実施内容と改善点		
常総市公共交通活性化協議会において、「利便増進実施計画」策定に取り組んでおり、その中において具体的な施策を検討予定である。		

令和2年度	決算額	24,516千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		695 円
当初の成果目標		- 円
実施内容と改善点		
上記決算額は、運営費総額38,726千円から国庫補助金8,757千円及び運賃収入5,453千円を引いた額となっている。 事業者の廃業により、運行台数及び便数が減となった。 6社6台→5社5台 48便/日→40便/日		

令和元年度	決算額	26,035千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		663 円
当初の成果目標		- 円

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	コロナ禍による外出自粛が影響し、利用者が減少したことにより、市民1人あたりの負担額が微増した。
分析	令和3年度に「利便増進実施計画」を策定予定であり、それに基づいた施策を展開することにより、事業効率の改善を図り、市民の移動手段のひとつとして制度を維持していきたい。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

成果指標

市民1人あたりの運行経費負担額
 $(\text{運行経費} - \text{運賃収入}) \div \text{人口}$

基準値：669円（運行開始からの累計を平均したもの）

単 位 円

NEXT CYCLE

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		円
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
円		円

事業の説明

事業名	公共交通の再編			
担当	常創戦略課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	6目	3事業
事業の目的	市民ニーズ等をふまえ、効率性と利便性の向上を図りつつ、持続可能な公共交通体系の再構築を目的とする。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	多様な交流を促す交通ネットワークを形成する
施策	交通機関の整備
施策の方向	関東鉄道常総線を軸とした公共交通体制の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	3,300千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		5種類
実施内容と改善点		
常総市公共交通活性化協議会において、コミュニティバスの導入に向けた調査・分析とともに、市全体の公共交通網の再編を行うためのアクションプランとなる「常総市地域公共交通利便増進実施計画」の策定に取り組んでいる。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	「常総市地域公共交通計画」が策定されたことにより、今後の方向性が示された。
分析	今後はアクションプランである「利便増進実施計画」を策定し、コミュニティバスを含めた各公共交通の適正化や連携を着実に推進・実行していくことが必要である。

【Action】今後に向けた改善点

方針	

令和2年度	決算額	4,281千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		5種類
当初の成果目標		1種類
実施内容と改善点		
市の現状を調査・分析し、公共交通のマスタープランである「常総市地域公共交通計画」を策定し、基本方針・目標・施策及び評価指標の設定をし、新たな公共交通としてコミュニティバスの必要性を位置付けた。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		種類
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
種類		種類

令和元年度	決算額	1,427千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		5種類
当初の成果目標		1種類

NEXT CYCLE